

令和5年度 第1回刈谷市在宅医療・介護連携推進協議会 議事録

日時：令和5年5月18日(木) 13:30～15:00

場所 市役所101会議室

出席者

○	医師会【座長】 鈴木 一正	○	医師会 松本 和幸	○	歯科医師会 宮田 泰 (代理 杉浦賢哉)
×	薬剤師会 野村 圭吾	○	刈谷豊田総合病院 加藤 千景	○	社会福祉協議会 福ヶ迫 幸江
○	訪看連絡協議会 中野 香織	○	療法士連絡会 酒井 元生	○	ケアマネ連絡会 山口 聡子
○	県歯科衛生士会 太田 由紀子	×	衣浦東部保健所 辻 真弓	○	包括支援センター 小栗 千佳
○	刈谷市役所 杉山 文章				

1 あいさつ

今回初めて出席される委員がいるため、協議会の意義や何を協議するか、これまでの経過、刈谷市の考えなどについて話してほしい。【座長】

2 委員及び事務局職員紹介

割愛

3 議題

(1) 在宅医療・介護連携推進事業について

① 在宅医療・介護連携推進事業の沿革について

(事務局より説明)

② 本市の進め方について

(事務局より説明)

今まで、えん joy ネットで情報共有、マニュアルを作成してきたが、今後はこれを使いながら在宅での医介連携の課題を抽出し、その課題を交流会という形で多職種で話していく。協議会が年に2回しかないため、1回は今まで通り、もう1回については課題や交流会について話していければ。【座長】

(2) 今回の協議事項について

① 令和4年度の事業実績報告と令和5年度の事業計画について

(事務局より説明)

② 各団体の令和4年度の事業実績報告と令和5年度の事業計画について

(別紙1参照)

③ 医療・介護多職種連携マニュアルについて

(事務局より説明)

④ えん joy ネット刈谷について (その1)

(事務局より説明)

⑤ 多職種連携について

令和5年1月の協議会のアンケート結果より ACP に関する意見が多かったため、ACP に関する多職種交流会を実施したいと考えている。【事務局】

急性期病院に入院が必要になり、今後のことを決めていかないといけなくなったときに、環境が変わった中でなかなか決めきれず、時間がかかってしまうのは当然だが、その中でも決めないといけない状況に置かれる患者やその家族にとってはもどかしさやジレンマを感じている状況。そのため、終末期に関わらず、普段の生活の中で、これからどうやって死ぬかではなくどうやって生きていくかを地域で生活しているときから、家族や地域の中で話をしていけないといけないと考えている。ACP の研修や退院支援ワーキングの中で意思決定支援をどうやっていくか ACP を絡めて考えている。

安城市や東浦町が ACP に地域として力を入れており、刈谷市も地域全体で進めていけたらと考えている。【刈総】

テーマとしてかなり大きい。どういう切り口でアプローチしていくかが難しい。刈総の意見は、昨日まで元気だった人が突然体調を崩し(交通事故など)、家族として受け入れられない状況で意思など決定していけないといけなくなったときのこと。

保健所がどういう観点の ACP の話か分からないため聞き取りを。【座長】

訪看の協議会でも ACP をどうやって決めていこうかといつも課題が出ている。何か一つ同じ目線で使える様式があると刈総を退院した後も在宅への引継ぎが容易になっていくのでは。【訪看】

(2) その他

① 地域ケア会議について

(事務局より説明)

② 情報公開請求について

(事務局より説明)

議事録の公開の前に参加者への連絡はあるか。【刈総】

内容が法人の知識や技能に関するものであれば。

今回の内容は当てはまらないため連絡はなし。【事務局】

③協議会の次回の予定

日 時 令和6年1月17日(水) 午後1時30分～
場 所 刈谷市役所1階 101会議室
議 題 多職種連携について 等